

会 議 録

会議録	平成30年度 第1回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 平成30年度の取組について</p> <p>4 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスの路線改編について</p> <p>①豊田・渋谷線</p> <p>②旭・豊田線</p> <p>③下山・豊田線</p> <p>(2) 地域バスの路線改編について</p> <p>①石野地域バス（路線定期運行、区域運行）</p> <p>②藤岡地域バス（路線定期運行）ダイヤ改正について</p> <p>(3) 藤岡地域バスの社会実験について</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスの路線改編等について</p> <p>①小原地域バス（区域運行）</p> <p>②下山地域バス（区域運行）</p> <p>③松平地域バス（区域運行）</p> <p>④旭地域バス（区域運行、路線定期運行）</p> <p>(2) 鞍ヶ池地域タクシー中間報告</p> <p>(3) おいでんバスのイベント対応について</p> <p>(4) 平成29年度バスの利用状況について</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・バスの運行事業者選定状況について・次回会議の開催予定について <p>6 閉 会</p>
日 時	平成30年6月27日（水） 午前9時30分～午前11時40分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 二輪 昭宏 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 榊原 仁 (愛知県振興部交通対策課) (代理：児玉) 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課) 坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課) 志水 昌吾 (愛知県警察豊田警察署) (代理：高橋) 柿本竜一郎 (愛知県警察足助警察署) (代理：寺井) 岩月 正光 (豊田市都市整備部) 中田 繁美 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) 三宅 利幸 (豊田市区長会) 酒井 康成 (豊田市高齢者クラブ連合会) (代理：藤井) 三浦 司之 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) 堀田 大祐 (名古屋鉄道株式会社) (代理：河合) 近藤 博之 (名鉄バス株式会社) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 西川雄一郎 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	1. 次第 2. 平成30年度 第1回 豊田市公共交通会議 会議資料

【協議案件】

(1) とよたおいでんバスの路線改編について

①豊田・渋谷線

②旭・豊田線

- 事務局 【資料1-1、1-2】に基づき説明。
- 委員 豊田・渋谷線の運賃について、「東山地区」は100円と200円、「市木・双美地区」が200円となっている理由を教えてください。
- 事務局 循環路線については、循環部分の距離を半分にしておいでんバスの距離制運賃にあてはめて運賃を設定している。
- 委員 路線が長くなっているが、おいでんバスが負担する費用はどれくらい増えるのか。
- 事務局 費用は500万円増加する見込であるが、名鉄バス東山住宅線の利用者が改編後のおいでんバスに乗車し収入増も見込まれるため、実質的な負担額は少ないと考えている。
- 委員 おいでんバスと名鉄バスは運賃調整をしているが、今後はどうするのか。
- 事務局 おいでんバスと名鉄バスの路線が競合しなくなったところは、運賃調整をしない。しかし、路線が競合するところは、民間路線との調整が必要だと考えている。
- 委員 おいでんバスと名鉄バスが競合しているところは、おいでんバスはおいでんバスの運賃体系として、名鉄バス利用者の運賃の差額分を豊田市で補てんするという考え方もあると思うが、どうか。
- 事務局 運賃補てんという考えはない。
- 委員 路線改編により、便利になるのは大変良いことだ。広報活動などはどのようにされる

予定か。

- 事務局 広報とよた9月1日号、豊田市駅窓口、地域の回覧、みちなびとよた、車内広告、バス停への告知を実施し、個別では高校への周知も図る予定。
- 委員 新しい情報提供の検討も含めて、広く周知されるよう実施してほしい。

<協議結果：全員承認>

(1) とよたおいでんバスの路線改編について

③下山・豊田線

- 事務局 【資料1-3】に基づき説明。
意見等なし。

<協議結果：全員承認>

(2) 地域バスの路線改編について

①石野地域バス（路線定期運行、区域運行）

- 事務局 【資料2-1】に基づき説明。
- 委員 利用者の待ち時間を減らしたり乗継を考慮したダイヤ改正はとてもよい。検討はどのように進められてきたのか。
- 事務局 運営協議会を中心に、区長会、高齢者クラブなどとの協議を経て決めた。
- 委員 ささゆりコースの運行時間帯が5時台から4時台と短くなったが、利用者の利便性についての反応はどうか。
- 事務局 地元の人の意見は聞きながら進めてきたが、夕方の時間帯はもともと利用者が少なくそれほど利便性には影響がないと考えている。今後も利用者の声を聞きながら進めていく。
- 委員 運営協議会では意見はなかったか。
- 事務局 特になかった。
- 委員 起伏が大きい団地などのバス停は、団地の上と下にバス停を設けてあると利用者の利便性が高い。そういう視点も入れて検討していただきたい。
- 事務局 今後運営協議会で提案していきたい。

<協議結果：全員承認>

②藤岡地域バス（路線定期運行）ダイヤ改正について

- 事務局 【資料2-2】に基づき説明。
- 委員 ダイヤ改正して中学生が乗車するようになると、自転車からバスに通学方法が変わる学生がいるため乗せこぼしが発生しないか。
- 事務局 現在でも中学生の利用が中心のため、その可能性はない。

<協議結果：全員承認>

(3) 藤岡地域バスの社会実験について（乗継割引）

- 事務局 【資料3】に基づき説明。
- 委員 社会実験の終了後、乗務員には聞き取りを実施してほしい。また、名鉄バスで運行している小原・豊田線、旭・豊田線と混同しないよう、乗継券には明記しておいてほしい。
- 事務局 運行事業者を通じてヒヤリングを実施していく予定。また誤乗防止として、社会実験では乗継ポイントを限定する予定で、乗継券には藤岡支所のみと明記する。
- 委員 今回は期間限定の社会実験で運営協議会の負担だが、結果によっては毎年続けていくことになるか。また、割引をすることで利用者を増やした場合、小型のバス車両の変更なども見据えているか。

- 事務局 継続の判断は乗継が可能かどうかも含め、運営協議会の中で検討していく。車両についても同様。
- 委員 利用者アンケートは実施するか。
- 事務局 未定だが、こちらも運営協議会の中で検討していく。

<協議結果：全員承認>

(4) 地域公共交通確保維持改善事業について

- 事務局 【当日配付資料】に基づき説明。
- 委員 補助金の補助率は2分の1なのか。車両の補助金はフィーダー系統のみにあるのか。プロポーザル等で途中で運行事業者が変更になった場合は、補助金についてはどうしていくのか。
- 事務局 補助金の補助率は2分の1だ。フィーダー系統のみでなく、幹線系統にも車両の補助金がある。車両補助金で該当するのは公有民営方式のものであり、市が購入して運行事業者が運行する車両が対象となる。事業者所有の車両についての補助金は減価償却費に対するものもあるが、これは運行事業者が国から受ける補助である。

<協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) 地域バスの路線改編等について

①小原地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1-1】に基づき説明。
意見等なし。

②下山地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1-2】に基づき説明。
意見等なし。

③松平地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1-3】に基づき説明。
意見等なし。

④旭地域バス（区域運行、路線定期運行）

- 事務局 【報告1-4】に基づき説明。

(2) 鞍ヶ池地域タクシー中間報告

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
- 委員 利用者が呼ぶタクシー会社に偏りが出ないか。また、3人の相乗りの場合、途中で乗降するケースへの対応は？
- 事務局 利用者には運行事業者が偏らないように呼んでくださいと呼びかけている。また、途中の乗降については、タクシーの乗用事業のため、利用者間で調整してもらっている。

(3) おいでんバスのイベント対応について

- 事務局 【報告3】に基づき説明。
意見等なし。

(4) 平成29年度バスの利用状況について

- 事務局 【報告4】に基づき説明。
- 委員 旭地域バスは利用者が減少しているとのことだが、施設の送迎サービスが始まったなら高齢者の移動サポートができていると捉えられると思う。
- 委員 矢並線など名鉄路線の利用実績について、地域間幹線系統という重要な路線のため、情報共有はした方が良い。
- 事務局 ICが導入され実績も把握しやすくなっているため、今後情報収集に努めたい。

5 その他

- ・バスの運行事業者選定状況について

- ・次回、会議の開催予定について

平成30年8月27日（月）午前9時30分の開催を予定。

以上